

保護者 様

四街道市立八木原小学校  
校長 谷口 育男

## 熱中症予防のための取組について

清明の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、「熱中症警戒アラート」による情報提供について、一昨年より全国で運用が開始されました。

つきましては、熱中症予防のため、四街道市教育委員会の指導助言のもと、本校では、下記のように対応してまいります。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 記

## 1 「熱中症警戒アラート」発表時の対応について

気象庁が設置した千葉県内14観測地点中、四街道市に近い「千葉」及び「佐倉」の暑さ指数及び、本校の校庭と体育館に設置した熱中症計の数値を参考に、実際の気象状況(天気、気温や風の様子、湿度等)を考慮し、野外活動の実施の可否を総合的に判断します。

## 2 暑さ指数(WBGT)について

暑さ指数(WBGT)	日常生活における注意事項	熱中症予防運動指針
危険 31℃～	外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	特別の場合以外は運動を中止する。
嚴重警戒 28～31℃	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	熱中症の危険が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり、水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
警戒 25～28℃	運動や激しい作業をする際は、定期的に十分に休息を取り入れる。	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり、適宜水分・塩分を補給する。激しい運動では30分おきくらいに休憩をとる。
注意 21～25℃	一般に危険は少ないが激しい運動や重労働の時は発生する危険がある。	熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

\*暑さ指数は気温とは異なります。詳しくは、「環境省熱中症予防情報サイト」をご参照ください。

## 3 本校の取組

- 体育や野外での活動時には、水筒を用意し、休憩時に適切に水分補給をします。水筒は、年間を通じて持たせてくださるようお願いいたします。中身がなくなったら、水道水を補充します。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、常時換気を実施しています。気温が上がる時期には、空調設備を使っても室温が高めになりますので、容量の大きい水筒をご用意くださると幸いです。
- 体育等、野外での活動前・活動中・活動後の健康観察を適切に行います。
- 感染症拡大防止のためマスクの着用を指導していますが、熱中症の危険がある時期の登下校や体育等の運動時には、周囲の人との距離をとるなど、適切な対応を取った上で、外すことも可とします。日傘や首に巻く冷却用品を使用する際は、予めお子様に正しい使い方をご指導ください。なお、体育等の運動時は、安全のため、首に巻く冷却用品は外すこととします。
- 暑さ指数が「嚴重警戒」以上になった場合は、激しい運動や持久走等は中止します。児童の体調を適切に把握し、総合的に判断し、必要に応じて野外での活動を中止あるいは時間を短縮します。
- 暑さ指数が「危険」以上になった場合は、野外及び体育館での活動を中止し、空調設備を効果的に使った室内での活動に切り替えます。
- 熱中症だけでなく、光化学スモッグについても、警報が発令された場合は、野外及び体育館での活動を中止し、空調設備を効果的に使った室内での活動に切り替えます。注意報が発令された場合は、児童の体調を適切に把握し、総合的に判断し、必要に応じて野外での活動を中止あるいは時間を短縮します。